◆ 当商品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

《ごあいさつ》

このたびは、ＫＡＷＡＩ電子ピアノをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本機は、木製鍵盤を搭載しており、グランドピアノのタッチをリアルに再現します。
また、ピアノの音色はもちろんオルガンなど全 2 音色（ＰＷ）9/7 10 音色（ＰＷ）7 を内蔵しています。
その他、自分の演奏を録音する機能，音に残響効果を与えるリバーブやその他のエフェクト，伝統的ないくつかの調律法による音律セッティングやハンマーフェルトの軟硬をシミュレートするボイシングなど多種多彩な機能を装備しています。
電子楽器統一規格である ＭＩＤＩ端子やコンピュータ接続端子を装備していますので、他の ＭＩＤＩを装備した電子楽器と接続してアンサンブルや直接コンピュータに接続して楽譜の演奏など、バラエティーに富んだ演奏にも対応できます。
本機の性能をフルに発揮していただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

KAWAI

DIGITAL PIANO

PW970
PW770

取扱説明書

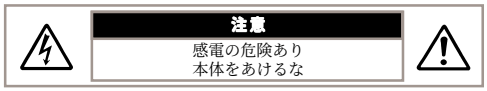
目次

◆ 安全上のご注意 2
1 各部の名称と働き 4
◆ パネル図 4
◆ ペダルを使って演奏 4
◆ ヘッドホン 5
2 演奏してみましょう 6
1) 基本操作 6
◆ 音色の選び方 7
2) デュアル演奏 8
3) スプリット演奏 9
4) リバーブ /エフェクト 11
5) デモ曲の演奏 13
6) コンサートマジック 14
7) トランスポーズ 19
8) メトロノーム 20
3 録音・再生 22
1) 録音 22
2) 再生 24
3) パートのデータの消去 25
4 バーチャルテクニシャンモード 27
1) ボイシング 27
2) ペダルエフェクト 28
3) タッチ 29
4) 音律の設定 30
◆ 音律のキー 31
5 設定モード 32
1) ブリリアンス 32
◆ ＭＩＤＩについて 33
◆ ＭＩＤＩの使用例 34
◆ 本機 ＭＩＤＩ機能 34
2) ＭＩＤＩ送信・受信チャンネル 35
4) チューニング 36
3) プログラム（音色）Ｎｏ送信 36
5) ローカル・コントロール 37
6) プログラム(音色)ナンバー送信のオン /オフ 38
7) ロアー・ペダルのオン /オフ 39
8) マルチ・ティンバー・モード 40
9) チャンネルミュート 41
10) メモリー・バックアップ 42
11) 表示言語 43
■ 付　録 44
◆ 他の機器との接続 44
◆ ＰＷ９７０スタンド組立図 46
◆ ＰＷ７７０スタンド組立図 47
◆ 主な仕様 48
◆ ＭＩＤＩＩＭＰＬＥＭＥＮＴＡＴＩＯＮ ＣＨＡ 49

●同梱品
- □ 本体
- □ スタンド一式
- □ 椅子
- □ 電源コード
- □ 取扱説明書（本書）
- □ スタンド組立図
- □ 保証書
- □ ご愛用者カード
- □ アフターサービスと音楽教室のご案内（全て各 1部）

◆ 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

⚠ このマークは、感電の危険があることを警告しています。

⚠ このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

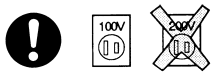
△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

◆電源は、必ず AC 100Vを使う



100V以外禁止

- 電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
- 発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない

- 感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける,かける,こぼす）などしない

- 漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機を落とさない

落とさない

- 運搬の際は、必ず 2人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

- イスで遊んだり、踏み台にしない
- イスには 2人以上で座らない
- イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
- イス組立時、ネジをしっかり締める

使用しない

- イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止

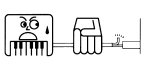
- 聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

分解禁止

- 故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く



プラグ部分を持つ

- コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

- 落雷時に火災の原因になります。

⚠注意

◆本機を次のような所では使用しない

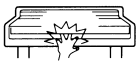
●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

使用禁止

●故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる



●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る

●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない

●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

もたれない

●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す

●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする

●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン／シンナー禁止

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

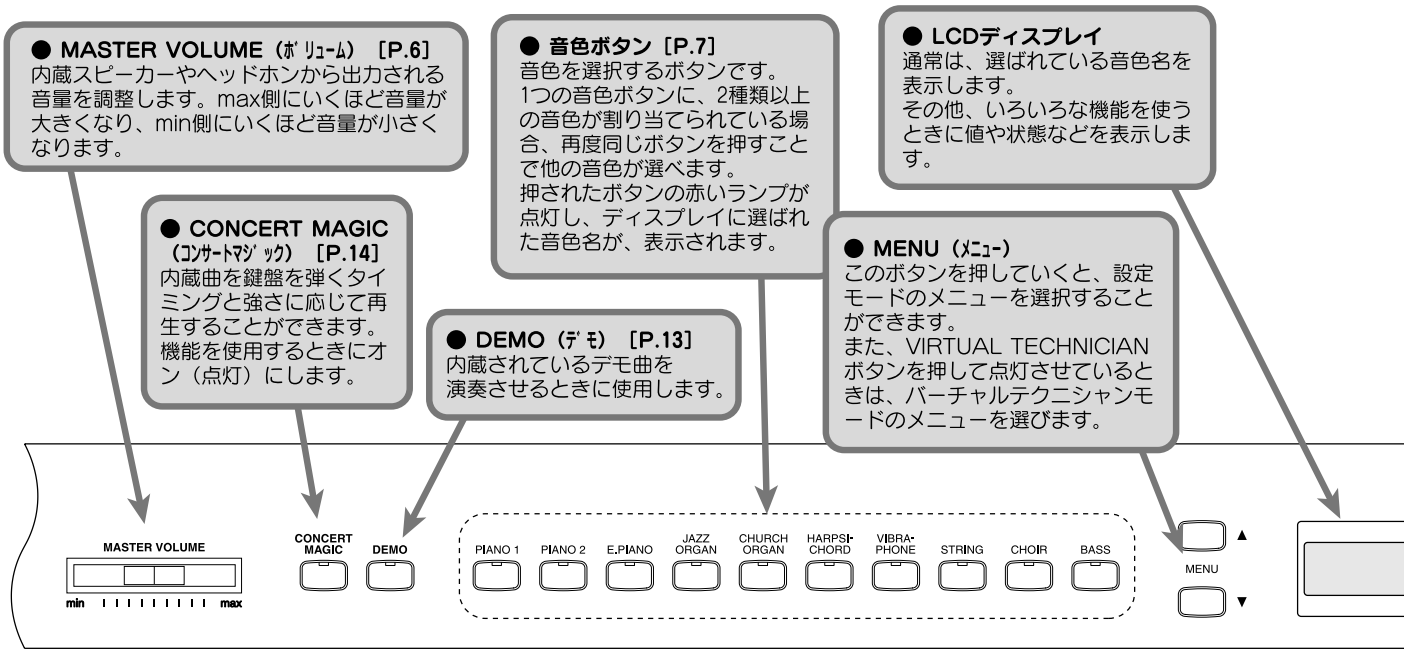
■修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

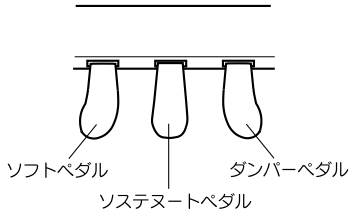
1 各部の名称と働き

電子ピアノに付いている、レバーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◆ パネル図



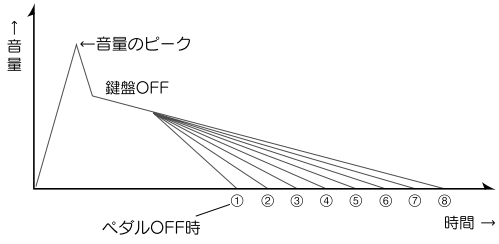
◆ ペダルを使って演奏



◆ ダンパーペダル

音に余韻を与えます。
特にＰ　Ｗ　では、0踏み具合により下記の　段階の減衰の調節ができます。（Ｐ　Ｗ　は、7オン/オフのみです。）

右図は、鍵盤を押した後の時間と音量の関係を表わしたグラフです。
ダンパーペダルの踏み方により、離鍵時の減衰が、8通りになります。
深く踏むごとに、①→ ②→・・・・→ ⑧のような減衰の仕方をしていきます。
最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。



● **RECORDER（ﾚｺｰﾀﾞｰ）［P.22］**
PLAY/STOP, RECボタンを使って、自分の演奏を録音、再生することができます。
本機のレコーダーでは、5曲まで録音することができます。
1曲は2つのパートから構成されていますので、2回の演奏を重ねて再生することができます。

● **TRANSPOSE（ﾄﾗﾝｽﾎﾟｰｽﾞ）［P.19］**
トランスポーズ機能を使えば、弾き方を変えずに簡単に移調できます。調の異なる楽器とのアンサンブルや、歌の伴奏をするときなどに便利です。

● **REVERB（ﾘﾊﾞｰﾌﾞ）［P.11］**
リバーブ効果の選択、またはオン/オフを設定します。
音にリバーブ効果（残響効果）を与えることで、美しい響きが得られます。

● **METRONOME［TEMPO / BEAT / VOLUME］（ﾒﾄﾛﾉｰﾑ［ﾃﾝﾎﾟ/ﾋﾞｰﾄ/ﾎﾞﾘｭｰﾑ］）［P.20］**
メトロノームのオン/オフや、テンポ/拍子/音量を変更します。

● **VIRTUAL TECHNICIAN（ﾊﾞｰﾁｬﾙﾃｸﾆｼｬﾝ）［P.27］**
バーチャルテクニシャンモードへ入るときに押します。
本機には、ピアノ独特の音色調整をバーチャルテクニシャンモードとして4種類装備しています。

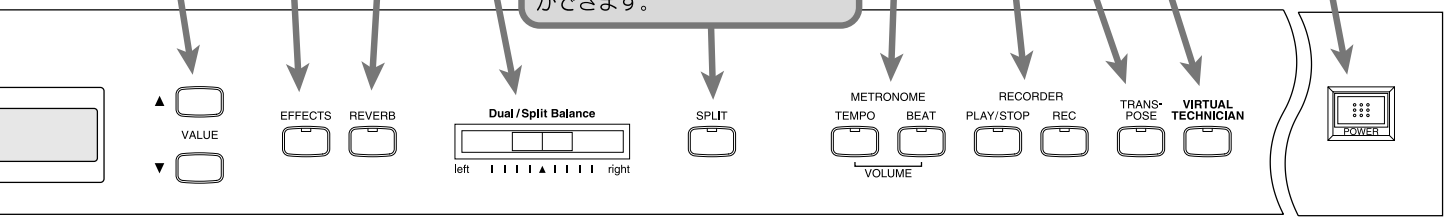
● **EFFECTS（ｴﾌｪｸﾄ）［P.12］**
コーラス効果、ディレイ効果、トレモロ効果、ロータリー効果の選択、またはオン／オフを設定します。

● **Dual / Split Balance（ﾃﾞｭｱﾙ/ｽﾌﾟﾘｯﾄﾊﾞﾗﾝｽ）［P.8/10］**
デュアル演奏、スプリット演奏の時、2つの音色の音量バランスを設定します。

● **VALUE（ﾊﾞﾘｭｰ）**
いろいろな値を設定する時に使います。

● **SPLIT（ｽﾌﾟﾘｯﾄ）［P.9］**
スプリット演奏では、鍵盤を左右に分割し、それぞれ異なる音色を設定することができるので、一人でアンサンブル演奏を楽しむことができます。

● **POWER（電源ｽｲｯﾁ）**
電源をオン/オフするスイッチです。
ご使用後は必ず電源を切って（オフ）ください。



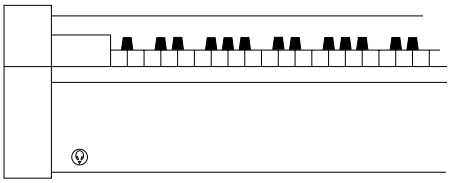
◆ ソステヌートペダル

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。
従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

◆ ソフトペダル

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。
ＥＦＦＥＣＴボタンを押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード（Ｓｌｏｗ/Ｆａｓｔ）を切り替えます。

◆ ヘッドホン



●ヘッドホン端子（2個）
別売りのヘッドホン（ＳＨ－５,)SをＨ－２接続する端子です。ヘッドホンを2つまで接続できます。

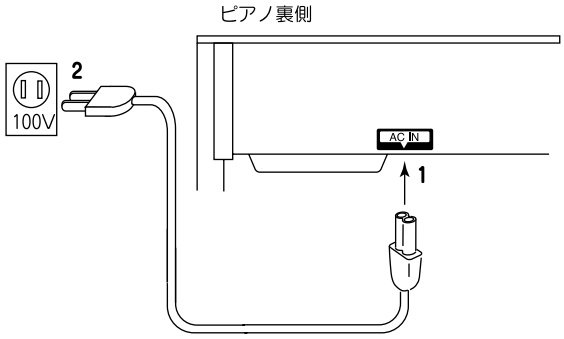
2. 演奏してみましょう

ここでは、電源を入れ音を出すまでの基本的な手順を説明します。

1）基本操作

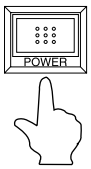
◇操作 1

電源コードを右図のように、AC100V のコンセントと本体に差し込みます。

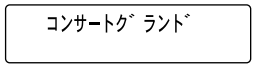


◇操作 2

POWER（電源スイッチ）ボタンを押して電源を ON にします。

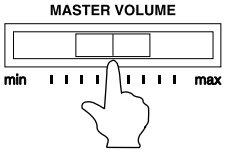


POWER ボタン を押すと音色セレクトボタン の PIANO 1 と表示されている ボタンが点灯し、LCD ディスプレイに「コンサートグランド」と表示されます。



◇操作 3

VOLUME レバーを中央付近にセットします。



◆ 音色の選び方

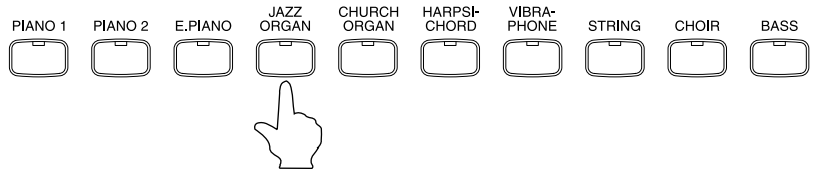
パネルには、10 個の音色ボタンがあります。
PW970 は、各音色ボタンに 2 つの音色（ベースのみ 3 音色）が割り当てられており、合計 21 音色を内蔵しています。
PW770 は、BASS ボタンにのみ、3 つの音色が割り当てられており、合計 12 音色内蔵しています。

音色ボタン			
◆ PIANO 1〔ﾋﾟｱﾉ1〕	ｺﾝｻｰﾄｸﾞﾗﾝﾄﾞ	ﾒﾛｰｸﾞﾗﾝﾄﾞ	
◆PIANO 2〔ﾋﾟｱﾉ2〕	ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ	ﾛｯｸﾋﾟｱﾉ	
◆ E.PIANO〔ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ〕	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ1	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ2	
◆ JAZZ ORGAN〔ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ〕	ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ1	ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ2	
◆ CHURCH ORGAN〔ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ〕	ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ1	ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ2	
◆ HARPSICHORD〔ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ〕	ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ1	ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ2	
◆ VIBRAPHONE〔ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ〕	ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ1	ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ2	
◆ STRING〔ｽﾄﾘﾝｸﾞ〕	ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ1ｽﾄﾘﾝｸﾞ	ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ2	
◆ CHOIR〔ｸﾜｲｱｰ〕	ｸﾜｲｱ	ﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
◆BASS〔ﾍﾞｰｽ〕	ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ	ﾍﾞｰｽ＆ﾗｲﾄﾞ	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾍﾞｰｽ

は、PW770 の内蔵音色です。
PW970 は、全てを内蔵しています。

◇操作 1

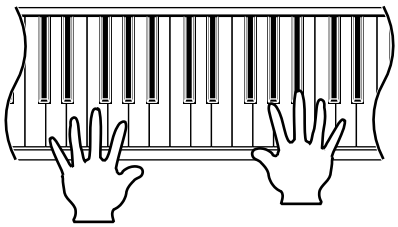
好きな音色 ボタンを押します。



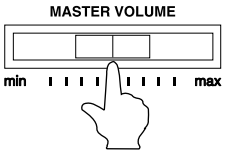
押された音色ボタンのランプが点灯し、選択されます。
1 つの音色ボタンに複数の音色が割り当てられている場合、選択されているボタンを再度押すと、同じ音色ボタンに割り当てられている他の音色が選択されます。
同じボタンを押す度に割り当てられている音色が入れ替わります。
例えば、コンサートグランドが選択されている時、PIANO1 ボタンを押すとメローグランドが選択され、再度押すとコンサートグランドに戻ります。

◇操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。



選んだ音色が発音します。
VOLUME レバー でお好みの音量に設定できます。



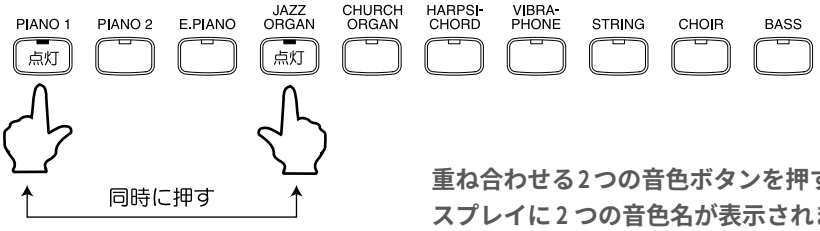
■複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大 64 音です。

2）デュアル演奏

デュアル演奏は 2 つの音色を重ね合わせます。
2 つの音色が同時に発音され音楽表現の幅が広がります。

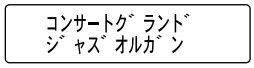
◇操作 1

2 つの音色ボタンを同時に押します。



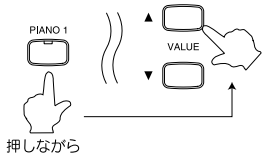
重ね合わせる 2 つの音色ボタンを押すと 2 つの音色ランプが点灯しディスプレイに 2 つの音色名が表示されます。

ピアノ 1 とジャズオルガンの音を重ね合わせる場合、図の様に PIANO1 ボタンと JAZZ ORGAN ボタンを同時に押します。



(PW970 のみ) 上のデュアル演奏の状態から、コンサートグランドとジャズオルガン 2 の音を重ね合せる場合は、PIANO1 ボタンを押しながら JAZZ ORGAN ボタンを再度押します。

1 つのボタンに 2 音色以上割り当てられている場合、その 2 音色を重ね合せて発音させることができます。
例えば、PW970 の場合、PIANO1 ボタンに割り当てられている「コンサートグランド」と「メローグランド」の音色を重ね合せる場合は、PIANO1 ボタンで「コンサートグランド」を選択した後、PIANO1 ボタンを押しながら VALUE ボタンで「メローグランド」を選択します。



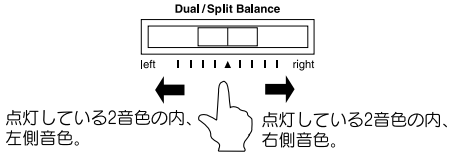
◇操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば選択した 2 つの音色が重なって発音されます。

◇操作 3

Dual/Split Balance レバーを動かして、2 つの音色のバランスを設定します。



◇操作 4

デュアル演奏の解除は、音色ボタンをどれか 1 つ押します。

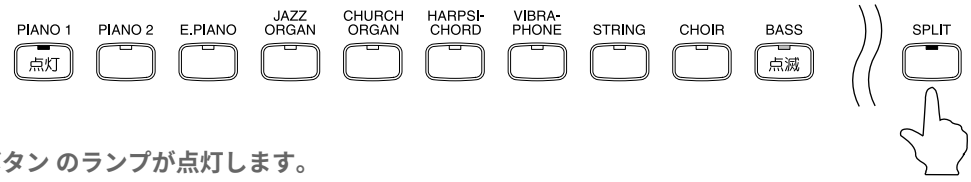
押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

3）スプリット演奏

鍵盤をスプリットポイントを境に左右 2 つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定しアンサンブル演奏をすることができます。

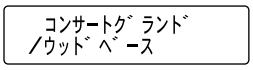
◇*操作 1*

SPLIT ボタン を押します。



SPLIT ボタン のランプが点灯します。
音色セレクトボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。

点灯している音色ボタンは、SPLIT ボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。
点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されている BASS ボタンのランプが自動的に選ばれます。
ディスプレイに選ばれている 2 音色が表示されます。

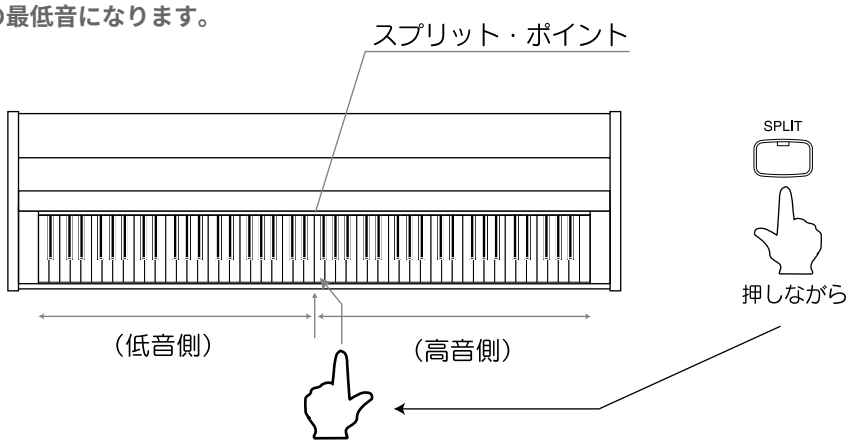


ディスプレイ左下には、スプリット状態であることを示す（ ／ ）マークが表示されます。
スプリットポイントは、はじめ自動的に中央の C（ド）に設定されます。

◇*操作 2*

スプリットポイントを変更したい場合は、SPLIT ボタン を押しながら鍵盤を押します。

押した鍵盤が、高音側の最低音になります。



◇*操作 3*

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば、スプリットポイントを境に別々の音色で発音されます。
右手でコードとメロディー、左手でベースラインを弾いて
アンサンブル演奏を楽しむことができます。

◇操作 4

高音側の音色変更は、音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点灯します。
音色ボタンをつづけて 2 回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

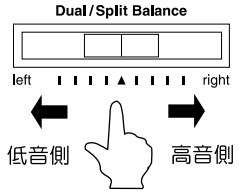
◇操作 5

低音側の音色変更は、SPLIT ボタンを押しながら音色ボタンを押します。

押した音色ボタンのランプが点滅します。
音色ボタンをつづけて 2 回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

◇操作 6

Dual/Split Balance レバーを動かして、
高音側と低音側のバランスを設定します。



◇操作 7

スプリット演奏を解除する時は、再度 SPLIT ボタンを押します。

SPLIT ボタンの上のランプが消灯します。

4）リバーブ/エフェクト

5 種類のリバーブと 4 種類のエフェクトを装備しています。

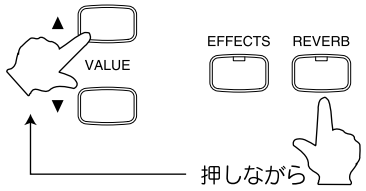
◆ 音に REVERB（リバーブ）効果を加える

リバーブ効果を加えると、音に残響効果が加わり深みのある美しい響きが得られます。
以下の 5 種類のリバーブを用意しています。

- **● ルーム　：室内で演奏している時にかかる残響効果が得られます。**
- **● ステージ　：ステージで演奏している時にかかる残響効果が得られます。**
- **● ホール　：ホールで演奏している時にかかる残響効果が得られます。**
- **● 3D ルーム　：*室内で演奏している時の残響に3次元の広がりを加えた効果が得られます。***
- **● 3D ホール　：*ホールで演奏している時の残響に3次元の広がりを加えた効果が得られます。***

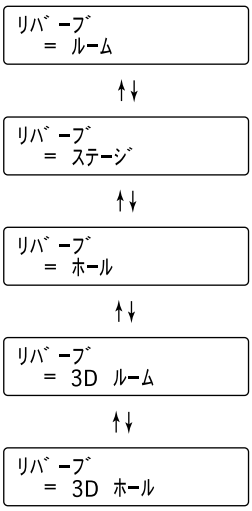
◇*操作 1*

REVERB ボタン を押しながら VALUE ボタンでリバーブの種類を選びます。



REVERB ボタン のランプが点灯します。

REVERB ボタンを押している間､ディスプレイに今選ばれているリバーブの種類が表示されます。



REVERB ボタン を押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度 REVERB ボタン を押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

REVERB ボタンを押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度 REVERB ボタン を押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

REVERB ボタン を離すとディスプレイの画面は音色表示になります。

◆ 音にコーラス / ディレイ / トレモロ / ロータリー効果を加える

●コーラス　：元々の音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加わえます。

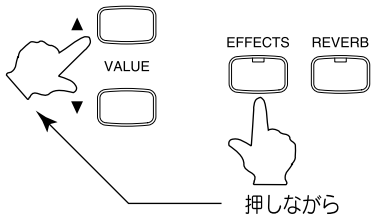
●ディレイ　：元の音に山びこ（エコー）のような反響音を加える効果です。
本機では3種類のディレイ効果を用意しています。

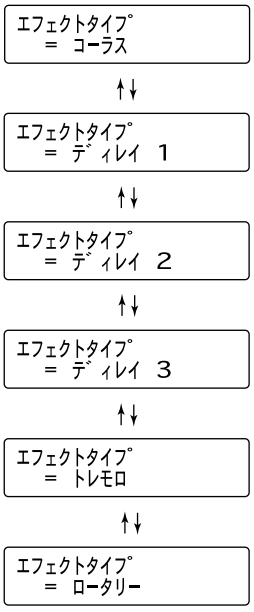
●トレモロ　：音に "ゆらぎ" を与える効果です。ビブラフォーンの音にかけると効果的です。

●ロータリー　：ロータリー（回転式）スピーカーを使って得られる効果です。
ソフトペダル（P.5参照）を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。

◇*操作 1*

EFFECTS ボタン を押しながら VALUE ボタン で効果の種類を選びます。





パネル上の EFFECTS ボタン ランプが点灯します。
EFFECTS ボタン を押している間、ディスプレイに今選ばれている効果の種類が表示されます。

EFFECTS ボタン を押して消灯させると、音色の効果は解除されます。
再度EFFECTS ボタン を押して点灯させると、前回選択していた種類の効果が加えられます。

ロータリーを選ぶとソフトペダルでスピードを切り替えることができます。（P.5 参照）

5）デモ曲の演奏

各音色毎にデモ曲を内蔵しています。
PW970 は計 28 曲、PW770 は計 19 曲のデモ曲を内蔵しています。
曲目は、下記の通りです。〔( ) は、PW970 のみです。〕
それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。

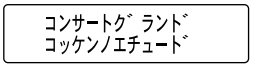
● PIANO1：	
ｺﾝｻｰﾄｸﾞﾗﾝﾄﾞ	：黒鍵のエチュード/ショパン
	：アラベスク第一番/ドビュッシー
	：トルコ行進曲/モーツァルト
	：エリーゼのために/ベートーベン
	：別れの歌/ショパン
	：花の歌/ランゲ
	：貴婦人の乗馬/ブルグミューラ
	：幻想即興曲/ショパン
(ﾒﾛｰｸﾞﾗﾝﾄﾞ	：亜麻色の髪のおとめ)
● PIANO2	
ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ	：オリジナル
(ﾛｯｸﾋﾟｱﾉ	：オリジナル)
● E.PIANO	
ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ1	：オリジナル
(ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ2	：オリジナル)
● JAZZ ORGAN	
ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ1	：オリジナル
(ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ2	：オリジナル)

● CHURCH ORGAN	
ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ1	：トッカータ/ジグー
(ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ2	：主よ人の望みの喜びよ/バッハ)
● HARPSICHORD	
ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ1	：フランス組曲/バッハ
(ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ2	：プレリュードin A/バッハ)
● VIBRAPHONE	
ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ1	：オリジナル
(ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ2	：オリジナル)
● STRING	
ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ1	：四季"春"/ビバルディ
(ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ2	：オリジナル)
● CHOIR	
ｸﾜｲｱ	：オリジナル
(ﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	：オリジナル)
● BASS	
ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ	：オリジナル
ﾍﾞｰｽ&ﾗｲﾄﾞ	：オリジナル
ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾍﾞｰｽ	：オリジナル

◇ ***操作 1***

DEMO ボタンを押します。

DEMO ボタンのランプが点灯し、音色ボタンが点灯します。
そのまま何も操作しなければ、ピアノ 1 のデモ曲が演奏されます。
ピアノ 1 のデモ曲の演奏後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。
ディスプレイには、音色名と曲名が表示されます。



◇ ***操作 2***

操作1でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して、曲を変更することができます。

押された音色ボタンのデモ曲を再生した後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。
1 つの音色ボタンに複数のデモ曲が内蔵されている場合、そのボタンを繰り返し押すことにより、次の曲を選ぶことができます。

◇ ***操作 3***

再度、DEMO ボタンを押せば、デモ曲の演奏は停止します。

6）コンサートマジック

コンサートマジックでは、鍵盤を押す度に曲の演奏を進めていくことができます。
誰にでも、（高度な曲が弾けない人にも）鍵盤を使って演奏を楽しむことができます。
本機には、コンサートマジック用に 88 曲の演奏曲を内蔵しています。

■EB：イージービート , MP：メロディープレイ , SK：スキルフルは、コンサートマジックの難易度を表わします。
(P.17 参照)

●子供の曲				
1	Twinkle,Twinkle,Little Star	きらきら星		MP
2	Mary Had A Little Lamb	メリーさんのひつじ		MP
3	London Bridges	ロンドン橋		MP
4	Pop Goes The Weasel	いいやつみつけた		MP
5	She'll Be Com' Around The Mountain	ほろ馬車がやってくる		EB
6	Frere Jacques	鐘の音		MP
7	Three Blind Mice	3 匹のいたずらねずみ		MP
8	Ten Little Indians	10 人のインディアン		MP
9	Brahm's Lullaby	ブラームスの子守歌		SK
10	Rock A Bye Baby	ねんねんころり		EB
11	Little Brown Jug	茶色の小瓶		MP
12	Polly Wolly Doodle	人まねオウム		MP
13	Turkey In The Straw	藁の中の七面鳥		SK
14	Ein Musicant	山の音楽家		SK
15	Old MacDonald Had A Farm	ゆかいな牧場		MP
●クリスマスの曲				
16	Jingle Bells	ジングルベル		MP
17	Deck The Halls	ひいらぎかざろう		MP
18	O Come All Ye Faithful	神のみ子はこよいしも		MP
19	Joy To the World	もろ人こぞりて		MP
20	The First Noel	牧人ひつじを		MP
21	Silent Night	きよしこの夜		MP
22	We Wish You A Merry Christmas	おめでとうクリスマス		MP
23	What Child Is This?(Greensleeves)	グリーン スリーブス		MP
24	Angels We Have Heard On High	荒れ野のはてに		MP
25	Amazing Grace	アメージング・グレース		MP
26	O Tannenbaum	もみの木		MP
●クラシック音楽				
27	Ave Maria	アベマリア	シューベルト	SK
28	Washington Post March	ワシントンポストマーチ	J.P. ソーサ	SK
29	Under The Double Eagle	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー	SK
30	American Patrol March	アメリカン・パトロール	ミーチャム	MP
31	Andante	びっくりシンフォニー	ハイドン	MP
32	Romeo And Juliet	ロミオとジュリエット	チャイコフスキー	SK
33	An Die Freude(Ode To Joy)	喜びの歌	ベートーベン	MP
34	Clair De Lune	月の光	ドビュッシー	SK
35	Skater's Waltz	スケーターズ・ワルツ	ワルトトイフェル	SK
36	Minuet In G	メヌエット　ト長調	バッハ	SK

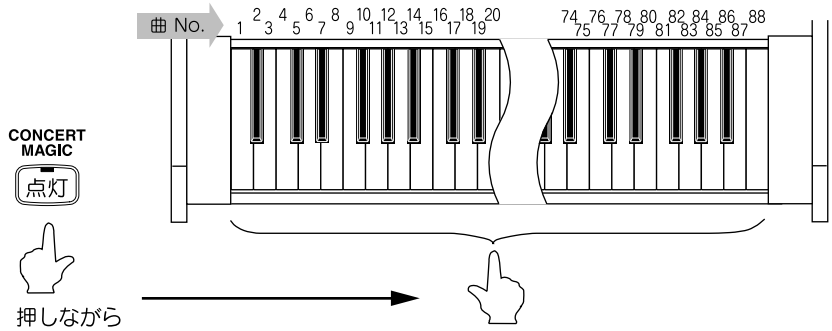
37	Blue Danube Waltz	美しく青きドナウ	シュトラウス		SK
38	Sleeping Beauty Waltz	眠りの森の美女	チャイコフスキー	EB	
39	Gavotte	ガボット	ゴセック	SK	
40	Waltz Of The Flowers	花のワルツ	チャイコフスキー	SK	
41	Toreador Song("Carmen")	闘牛士の歌	ビゼー		SK
42	Norwegian Dance	ノルウェー舞曲	グリーグ		SK
43	William Tell Overture	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ		SK
44	Can Can	天国と地獄	オッフェンバック		SK
45	Emperor Waltz	皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス	SK	
46	March Militaire	軍隊行進曲	シューベルト	SK	
47	Grand March ("Aida")	凱旋行進曲	ヴェルディ	SK	
48	Gymnopedie	ジムノペディ　1番	サティ		SK
49	Gypsy Chorus	ジプシーの歌	ビゼー	SK	
50	Largo	新世界より家路	ドボルザーク		SK
51	Prelude In A	プレリュード　イ長調	ショパン		MP
52	Pizzicato Polka	ピチカート・ポルカ	シュトラウス	SK	
53	Rondeau	ロンドー	ムレ		SK
54	Voice Of Spring	春の声	シュトラウス	EB	
55	Allegro Moderato	未完成交響曲	シューベルト		SK
56	Habanera	ハバネラ	ビゼー		SK
57	The Entertainer	エンタティナー	ジョプリン	SK	
58	Maple Leaf Rag	メープル・リーフ・ラグ	ジョプリン	SK	
●アメリカのクラシック音楽					
59	Battle Hymn Of The Republic	リパブリック賛歌		MP	
60	Yankee Doodle	アルプス一万尺		MP	
61	Danny Boy	ダニーボーイ			EB
62	Clementine	雪山賛歌			MP
63	Home On the Range	峠の我が家		MP	
64	Campton Races	草競馬			MP
65	When Johnny Comes Marching Home	ジョニーが凱旋するとき		MP	
66	When The Saints Go Marching In	聖者の行進			EB
67	Old Kentucky Home	ケンタッキーの我が家			SK
68	Old Folks At Home	故郷の人々			SK
69	I've Been Working On The Railroad	線路は続くよどこまでも		EB	
70	Grandfather's Clock	おじいさんの古時計			EB
●式典の曲					
71	Auld Lang Syne	蛍の光		MP	
72	Bridal Chorus	婚礼の合唱		MP	
73	Wedding March	結婚行進曲		SK	
●世界の民謡					
74	Annie Laurie	アニーローリー			MP
75	Hava Nagilah	ハバナギラ			EB
76	Funiculi Funicla	フニクリフニクラ		SK	
77	Santa Lucia	サンタルチア			SK
78	Fuchs,Du Hast Die Gans Gestohlen	こぎつね		EB	
●日本の名曲					
79	Sakura Sakura	さくらさくら		EB	
80	Momiji	もみじ			EB
81	Oborotsukiyo	おぼろ月夜			EB
82	Hamabenouta	浜辺のうた		EB	
83	Yuki	ゆき			MP
84	Furusato	ふるさと			EB
85	Nanatsunoko	七つの子			EB
86	Fuyugesiki	冬げしき			EB
87	Muranokajiya	村のかじや			MP
88	Saushunfu	早春附			EB

◆ コンサートマジックの演奏

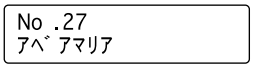
◇ *操作 1*

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら鍵盤を押します。

88 曲のコンサートマジック曲は、88 本の鍵盤に割り当てられており、この鍵盤で曲を選択します。
（前ページ表参照）

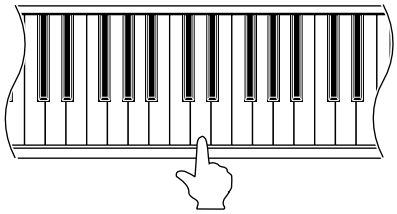


No.27 の鍵盤でアベマリアを選択した場合
ディスプレイでは右のように表示されます。

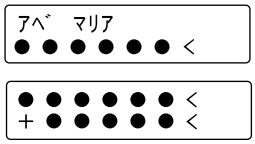


◇ *操作 2*

鍵盤を弾きます。

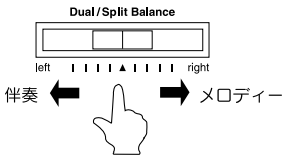


鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。
鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。
ディスプレイでは、演奏を進めていくに伴って、クロマル（●）がプラス（+）表示へと変わっていきますので、鍵盤を押すタイミングをつかんでください。



通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の 2 パートからできており、
Dual/Split Balance レバーで 2 パートの音量バランスを調整することが
できます。



◇ *操作 3*

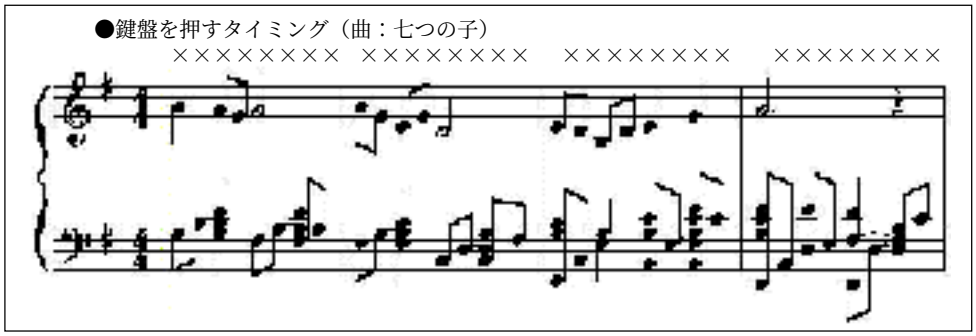
再度、CONCERT MAGIC ボタンを押してランプを消灯させれば、通常の演奏状態に戻ります。

◆イージービート / メロディープレイ / スキルフル

コンサートマジック曲は、難易度別に3種類（イージービート/メロディープレイ/スキルフル）に分けられます。

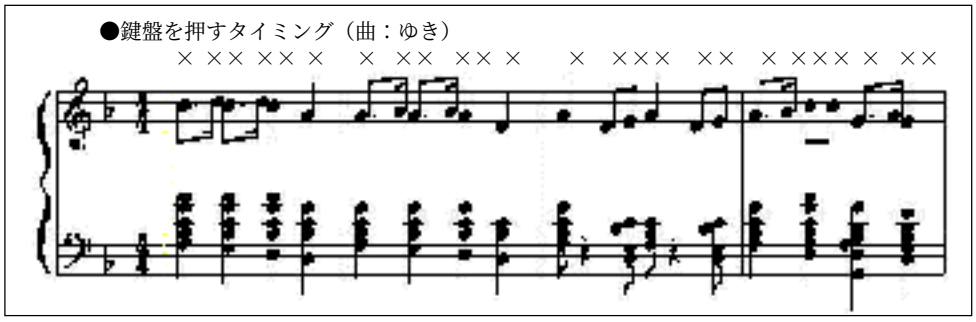
◆イージービート

イージービートの曲は、一定のテンポで鍵盤を弾くことによって、うまく演奏することができます。
小さなお子様でも簡単に演奏を楽しむことができます。
（P.14/15　曲リスト右側に「EB」と記載されています。）



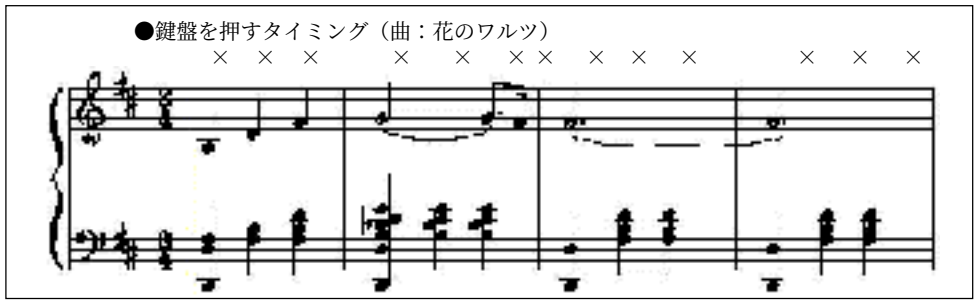
◆メロディープレイ

コンサートマジックの曲は、「メロディー」と「伴奏」より構成されています。
メロディープレイでは、メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって、うまく演奏することができます。従って、メロディーをある程度知っていないとうまく演奏できません。
（P.14/15　曲リスト右側に「MP」と記載されています。）



◆スキルフル

スキルフルでは、「メロディー」と「伴奏」両方のタイミングに合わせて鍵盤を弾かなければ、うまく演奏することができません。3 つの中で最も難易度の高い曲です。
（P.14/15　曲リスト右側に「SK」と記載されています。）

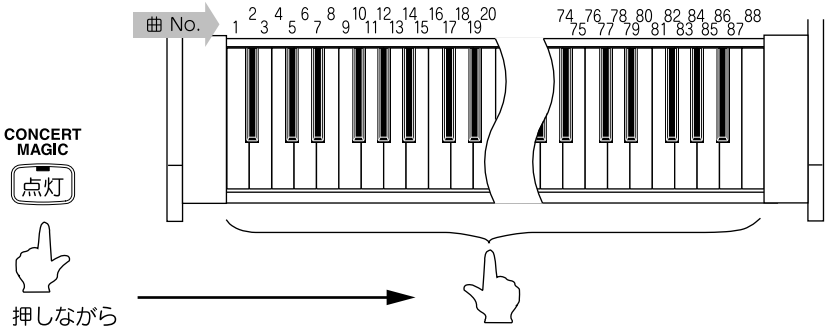


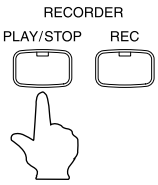
◆ コンサートマジック曲の再生

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。
どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

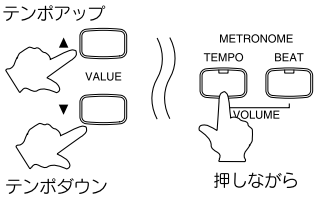
◇ *操作 1*

CONCERT MAGICボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後､PLAY/STOPボタンを押します。





選択されている曲を、もう一度PLAY/STOPボタンを押すまで、繰り返し再生し続けます。
TEMPO ボタン押しながら VALUE ボタンを押して曲のテンポを変更できます。



◇*操作 2*

もう一度 PLAY/STOP ボタンを押せば、演奏は止まります。

◆ その他の再生方法 （チェイン再生 / グループ再生 / ランダム再生）

※*チェイン再生*

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、鍵盤で曲選択をせずに PLAY/STOP ボタンを押します。

1 曲目から 88 曲目まで順番に繰り返し再生します。

※*グループ再生*

DEMO ボタンを押しながら鍵盤を押します。

この場合、選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。
例えば、No.21 の「きよしこの夜」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.16 ～ No.26 のグループ「クリスマスの曲」を繰り返し再生します。

※*ランダム再生*

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、DEMO ボタンを押します。

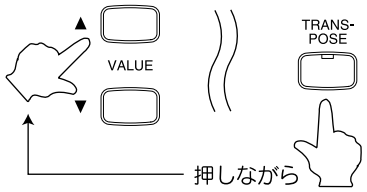
全内蔵曲を対象に、順不同に曲の再生をし続けます。
但し、1 曲目は「きらきら星」です。

7）トランスポーズ

半音単位で調を変えることができます。
調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾き方を変えずに簡単に移調できます。

◇*操作 1*

TRANSPOSE ボタンを押しながら VALUE ボタンで移調値を（-6～+5）の間で設定します。



TRANSPOSE ボタン のランプが点灯し、ボタンを押している間、
ディスプレイに現在の値が表示されます。
電源オン時は、ハ長調（C）に設定されてます。

```
ﾄﾗﾝｽﾎﾟｰｽﾞ
      =  0 C
```

VALUE ▲ボタンを押す度に半音単位で調が上がります。
VALUE ▼ボタンを押す度に半音単位で調が下がります。

-6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, 1, 2, 3, 4, 5
F#, G, G#, A, A#, B, **C**, C#, D, D#, E, F

ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。

◇*操作 2*

TRANSPOSE ボタンを押す度に、オン/オフを設定できます。

ランプが点灯時にオンとなります。
値が「0」の場合は、点灯しません。

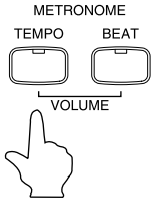
8）メトロノーム

メトロノームを使ってテンポを正しく練習しましょう。

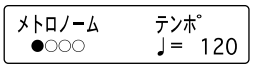
◆ メトロノームの発音とテンポ設定

◇*操作 1*

TEMPO ボタンを押します。

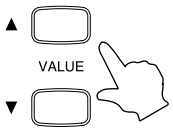


TEMPO ボタン が点灯し、メトロノームが発音します。
ディスプレイにそのテンポの値が表示されます。



◇*操作 2*

VALUE ボタンを押してテンポの早さを設定できます。



テンポの値を ♩ =30 ～ 300 の範囲で設定できます。
（6/8 拍子のときは、 ♪=60 ～ 600）

◇*操作 3*

再度 TEMPO ボタンを押すとストップします。

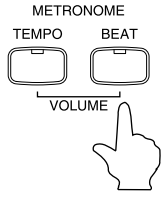
TEMPO ボタンのランプは、消灯します。

■コンサートマジックボタンが点灯中は、メトロノームは発音しません。

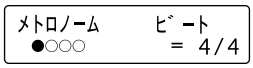
◆ メトロノームの拍子設定

◇*操作 1*

BEAT ボタン を押します。

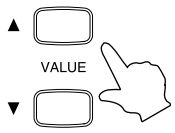


BEAT ボタンが点灯し、ディスプレイにその拍子が表示されメトロノームが発音します。



◇*操作 2*

VALUE ボタン を押して拍子を選択します。



1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8　より選択することができます。

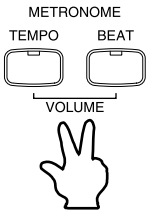
◇*操作 3*

再度BEAT ボタン を押すとBEAT ボタンのランプは消灯し、メトロノームが止まります。

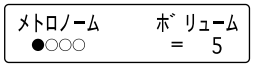
◆ メトロノームの音量設定

◇*操作 1*

TEMPO ボタンと BEATボタンを同時に押します。

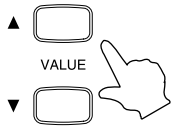


TEMPO＋BEAT ボタンが点灯し、
メトロノームが発音します。
ディスプレイにその音量の値が表示されます。



◇*操作 2*

VALUE ボタン を押して音量を設定します。



1 ～ 10 の範囲で設定できます。

◇*操作 3*

再度 TEMPO ボタンと BEATボタンを同時に押すと、ランプが消えメトロノームが止まります。

3. 録音・再生

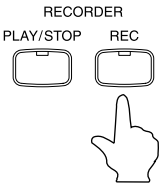
1）録音

本機では、自分の演奏を 5 曲（5 ソング）まで、録音し再生することができます。
それぞれの曲（ソング）は、2 つのパートから構成されており、2 回の演奏を重ね合わせて再生できます。

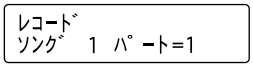
◆ 録音するソングとパートの選択

◇操作 1

REC ボタンを押します。

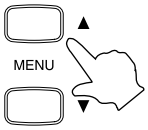


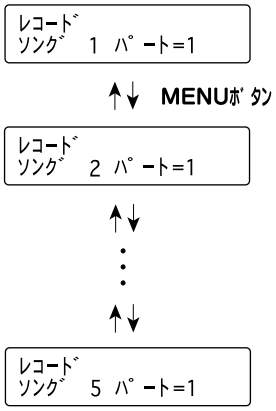
ディスプレイにソングとパートが表示されます。
REC ボタンが点滅します。



◇操作 2

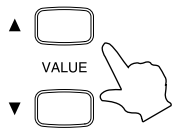
MENU ボタンを押して録音したいソングを設定します。

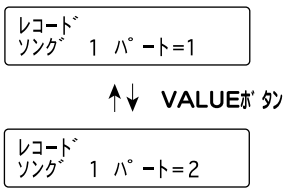




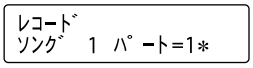
◇*操作 3*

VALUE ボタンを押して録音したいパートを設定します。





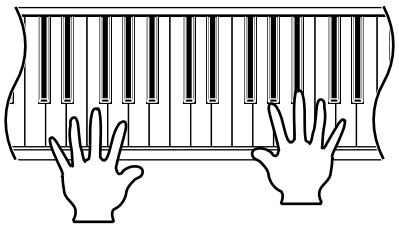
既に録音されているパートには、2行目右に＊マークが付いています。



このパートに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。

◇ *操作 4*

鍵盤を弾いて録音をスタートします。



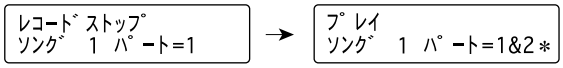
鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。
このとき、REC ボタンと PLAY/STOP ボタン のランプが点灯します。

PLAY/STOP ボタン を押しても録音を開始できます。
録音中の音色変更も記憶されます。

◇ *操作 5*

演奏が終わったら PLAY/STOP ボタン を押して録音を終了します。

PLAY/STOP ボタン と REC ボタン が消灯し録音が停止します。
ディスプレイは、録音停止を表示した後、自動的に再生待機状態の表示になります。



■ レコーダーの総記憶容量は、約 5,000 音です。録音中に記憶容量が一杯になったときは、録音が中止されます。　中止される直前までの演奏は録音されます。

■ レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。

■ パート 1 に既に録音されているソングのパート 2 に録音するとき、パート 1 の演奏を再生しないでパート 2 に録音したいときは、REC ボタン を押す前に PLAY/STOP ボタン を押し　VALUE ボタン を押してプレイパートを 2 に設定します。

■ 録音中のパネル操作に関して…

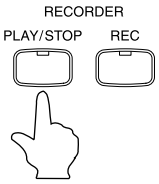
- **音色変更は記憶します。**
- **デュアルスプリットモードの移行は記憶します。**
- **エフェクト設定の変更は記憶せず、パネルで選ばれている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。**
- **テンポ変更は記憶しません。**
- **デュアルスプリットバランスの変更は録音されません。録音直前のバランスで録音されます。**
- **タッチカーブ、トランスポーズボタンのON/OFF変更は、録音されません。**
  再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音程で再生されます。

2）再生

録音した曲を再生します。
前ページ操作 5 の後、その録音した演奏を再生する場合は、PLAY/STOP ボタンを押せば再生されます。
通常の演奏状態の時（ディスプレイが音色表示の時）再生を行う場合は、以下の通りです。

◇ *操作 1*

PLAY/STOP ボタン を押します。

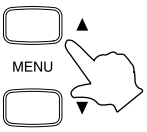


現在選択されているソングとパートが表示され、再生待機状態となります。

```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2＊
```


◇*操作 2*

MENU ボタン を押して目的のソングを設定します。




```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2＊
```

↑↓ MENUﾎﾞﾀﾝ

```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  2 ﾊﾟｰﾄ=1&2
```

↑↓

⋮

↑↓

```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  5 ﾊﾟｰﾄ=1&2
```

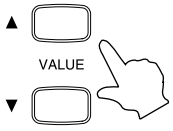
↑↓

既に録音されているパートには、右下隅に＊マークが付いています。

```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2＊
```

◇*操作 3*

VALUE ボタン を押して目的のパートを設定します。




```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2＊
```

↑↓ VALUEﾎﾞﾀﾝ

```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1＊
```

↑↓

```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=2＊
```

Part1 ＆ 2	：	パート 1 と 2 を再生
Part1	：	パート 1 のみ再生
Part2	：	パート 2 のみ再生

◇*操作 4*

再度、PLAY/STOP ボタンを押し再生を開始します。

◇ *操作 5*

演奏を停止するには、PLAY/STOP ボタン押します。

再生待機状態となります。
ここで次の曲とパートを選択することができます。

◇ *操作 6*

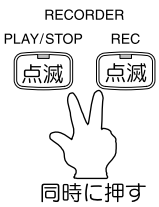
音色 ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

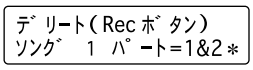
3）パートのデータの消去

ここでは、録音に失敗したり、いらなくなった曲を 1 パートづつ消去します。

◇ *操作 1*

PLAY/STOP ボタンと REC ボタンを同時に押します。

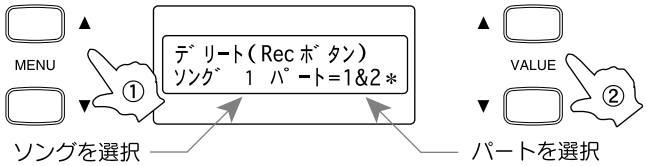




PLAY/STOP ボタンとREC ボタンのランプが点滅します。

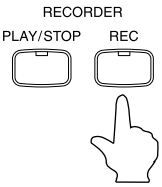
◇ *操作 2*

MENU ボタンを押してソングを VALUE ボタンを押してパートを選びます。



◇ ***操作 3***

REC ボタン を押したら 1 回確認のメッセージを表示します。



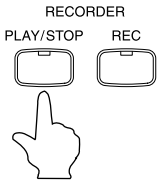

```
OK?  (Rec ﾎﾞﾀﾝ)
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2*
```

◇ ***操作 4***

再度 REC ボタン を押したら消去します。

```
ﾃﾞﾘｰﾄ ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2
```

操作 3 で消去中止する場合は、PLAY/STOP ボタン を押します。

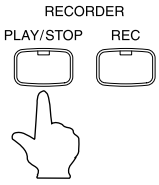



```
ﾃﾞﾘｰﾄ ｷｬﾝｾﾙ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2*
```

→

```
ﾃﾞﾘｰﾄ(Rec ﾎﾞﾀﾝ)
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2*
```

さらに PLAY/STOP ボタン を押すと、ディスプレイは再生時の表示となります。




```
ﾌﾟﾚｲ
ｿﾝｸﾞ  1 ﾊﾟｰﾄ=1&2
```

■ 複数のソング/パートを消去するときは、繰り返し操作を行ってください。

■ 録音されているすべてのソングを消去したい場合は、PLAY/STOP ボタンと REC ボタン を 押したまま、電源を入れてください。

4. バーチャルテクニシャンモード

ピアノ調律師は、アコースティックピアノには、欠くことができません。
調律師は、調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。
バーチャルテクニシャンは、これらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

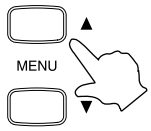
1）ボイシング
2）ペダルエフェクト
3）タッチ
4）音律の設定

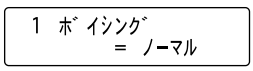
1）ボイシング

音色のニュアンスを 4 種類の中より選べます。

◇*操作 1*

VIRTUAL TECHNICIAN ボタンを押して、ディスプレイにボイシングの画面を表示させます。

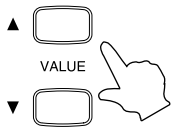




■ *電源オン時は〝ノーマル〟に設定されます。*

◇*操作 2*

VALUE ボタンで値を［ノーマル/メロー/ダイナミック/ブライト］の中から設定します。



ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。

- ●*ノーマル　：通常の設定です。*
- ●*メロウ　：やわらかめのハンマーをシミュレートした全体にソフトな音色になります。*
- ●*ダイナミック：ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。*
- ●*ブライト　：硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。*

◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

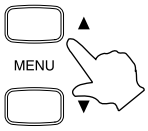
つづけて、MENU ボタンを押して他の項目の設定をすることもできます。

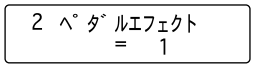
2）ペダルエフェクト

ダンパーペダル（P.4）を踏んだとき、音にピアノ全体の共鳴音が加わります。
この共鳴音の音量を設定します。

◇*操作 1*

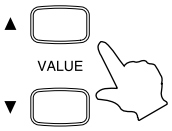
VIRTUAL TECHNICIAN ボタンを押した後、MENU ボタンを押しペダルエフェクトの画面を表示します。





◇*操作 2*

VALUE ボタンで値［0/1/2］を設定します。



0 の場合、共鳴音はありません。
"1" で弱く、"2" で強く響きます。

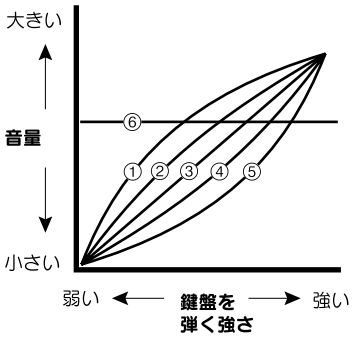
◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

3）タッチ

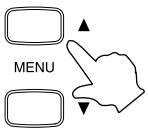
ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。
この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。
本機では、6 種類のタッチカーブを選ぶことができます。

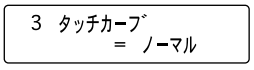
㈰LIGHT+	：	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
㈪LIGHT（ライト）		小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
㈫NORMAL（ノーマル）	：	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
㈬HEAVY	：	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
㈭HEAVY+（ヘビー）		指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。
㈮OFF（オフ）	：	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。



◇*操作 1*

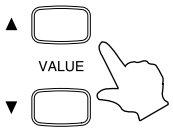
VIRTUAL TECHNICIAN ボタンを押した後、MENU ボタン を押しディスプレイにタッチカーブの画面を表示させます。





◇*操作 2*

VALUE ボタン でタッチカーブを［ヘビー+/ヘビー/ノーマル/ライト/ライト+/オフ］より選択します。



ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。
電源オン時はノーマルに設定されます。

◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

4）音律の設定

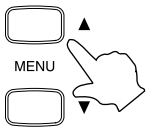
ピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律を内蔵しています。

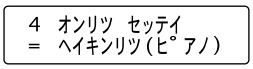
本機に内蔵されている音律の設定は、以下の通りです。

◆ 平均律（ピアノ） (Equal P.only)	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律（フラット）に従います。
◆ 純正律＜長調＞ (Pure major)	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
◆ 純正律＜短調＞ (Pure minor)	純正律は、長調と短調で異なります。 長調と同様の効果を短調でも得られます。
◆ ピタゴラス音律 (Pythagorean)	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特長です。
◆ 中全音律 (Meantone)	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特長の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
◆ ヴェルクマイスター第III法 (Werkmeister) ◆ キルンベルガー第III法 (Kirnberger)	調合の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調合が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した " 調性の性格 " を反映することのできる調律法です。
◆ 平均律（フラット） (Equal Flat)	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特長があります。
◆ 平均律 (Equal Stretch)	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。

◇*操作 1*

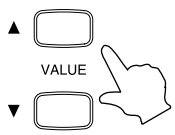
VIRTUAL TECHNICIAN ボタンを押した後、MENU ボタン を押しディスプレイに音律の画面を表示させます。





◇*操作 2*

VALUE ボタンで音律を設定します。



ディスプレイの 2 行目に音律が表示されます。

■平均律（ﾋﾟｱﾉ）

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ(ﾋﾟｱﾉ)
```

⇅

■純正律長調

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ｼﾞｭﾝｾｲﾘﾂ1
```

⇄ ■純正律短調

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ｼﾞｭﾝｾｲﾘﾂ2
```

⇄ ■ﾋﾟﾀｺﾞﾗｽ音律

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾋﾟﾀｺﾞﾗｽ
```

⇄ ■中全音律

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾁｭｰｾﾞﾝｵﾝﾘﾂ
```

⇅

■ヴェルクマイスター第III法

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ヴｪﾙｸﾏｲｽﾀｰ
```

⇄ ■キルンベルガー第III法

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ｷﾙﾝﾍﾞﾙｶﾞｰ
```

⇄ ■平均律（ﾌﾗｯﾄ）

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ(ﾌﾗｯﾄ)
```

⇄ ■平均律（ｽﾄﾚｯﾁ）

```
4 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ
```

電源オン時は、平均律(ピアノ)に設定されています。
この場合、ピアノ音色を選択した時、自動的に平均律ストレッチ（ピアノの調律曲線を使った平均律）に設定され、ピアノ以外の音色の時には、自動的に平均律フラットに設定されます。

◇操作 3

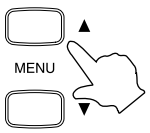
設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

◆ 音律のキー

ここでは、音律に対する調（キー）を設定します。

◇操作 1

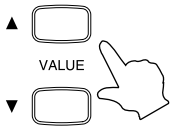
VIRTUAL TECHNICIAN ボタンを押した後、MENU ボタン を押し調の画面を表示させます。




```
5 ｵﾝﾘﾂﾉ ｼｭｵﾝ
      = C
```

◇操作 2

VALUE ボタン で調を［C ～ B］の間で設定します。



ディスプレイの 2 行目に調が表示されます。
電源をオンにして初めて音律設定を行ったとき、調は各音律の C 調になります。

平均律を選択した場合は、調の設定をしても変化はありません。

◇操作 3

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

5. 設定モード

本機には、演奏を楽しむために、いろいろな状態を設定することができます。
これを＂設定モード＂といい、この設定モードでは以下のメニューの設定を行うことができます。

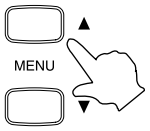
1） ブリリアンス
2） MIDI送信・受信チャンネル
3） プログラム（音色）ナンバー送信
4） チューニング
5） ローカルコントロール
6） プログラム（音色）ナンバー送信のオン/オフ
7） ロアー・ペダル
8） マルチ・ティンバー・モード
9） チャンネルミュート
（マルチ・ティンバー・モード,オンの時のみ）
10） メモリーバックアップ
11） 表示言語

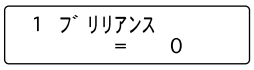
1）ブリリアンス

音色の明るさを調節します。

◇*操作 1*

MENU ボタンを押してディスプレイにブリリアンスの画面を表示させます。

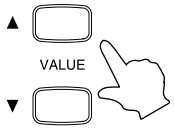




■ 電源 ON 時は 0 に設定されます。

◇*操作 2*

VALUE ボタンで値を［-10 ～ +10］の間で設定します。



値が大きくなるほど音色に明るさが加わります。
ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。

◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

◆ MIDI について

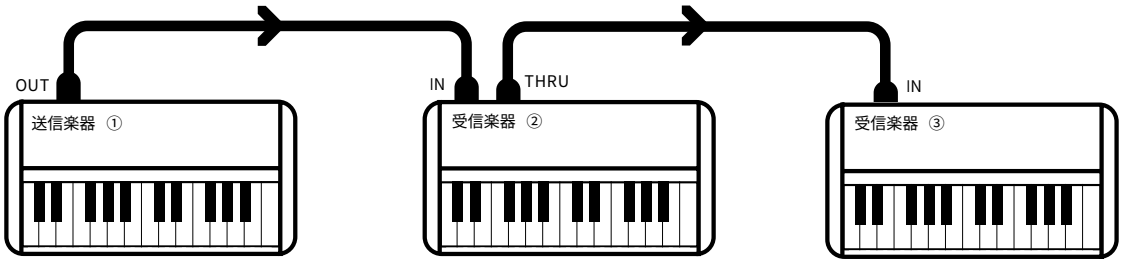
MIDI について簡単に説明します。
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDI 端子には、IN，OUT，THRU の３つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

IN　：　鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT　：　鍵盤情報や音色情報を送信します。
THRU　：　受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの２種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

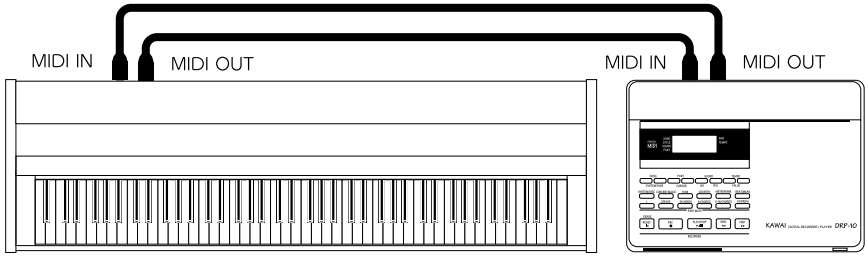
例えば３台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器㈰ は、送信チャンネルと共に鍵盤情報等を受信楽器 ㈪，㈫ に送ります。
受信楽器 ㈪，㈫ には、この情報が送られて来ます。基本的には 受信楽器 ㈪，㈫ の受信チャンネルと送信楽器 ㈰ の送信チャンネルが一致していれば、送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。
チャンネル番号は、送信，受信とも１ ～ １６までの番号を使用することが出来ます。

◆ MIDI の使用例

●シーケンサーを使っての録音 / 再生



図の様にカワイのシーケンサー DRP-10 に接続すれば、電子ピアノの演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができ、電子ピアノの練習に役立てることができます。また、電子ピアノの設定をマルチティンバーオン（P.40 参照）にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォーンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。
また、DRP-10 の場合音源も内蔵してますので、その内蔵音色を使ってピアノ演奏を楽しむこともできます。

◆ 本機 MIDI 機能

本機の MIDI 機能は、以下の通りです。

◆ 鍵盤情報の送信・受信
電子ピアノを弾いてシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

◆ 送信・受信チャンネルの設定
送信受信チャンネルを 1 ～ 16 の範囲で設定することができます。

◆ プログラム（音色）ナンバーの送信
電子ピアノと MIDI で接続したシンセサイザー等の音色（プログラムされた音色）を電子ピアノ側の操作で変えたり、その逆が可能です。

◆ ペダル情報の送信・受信
ダンパーペダル、ソフトペダルのオン / オフ情報の送信・受信ができます。また、ソステヌートペダルの場合は、オン / オフの送信ができます。

◆ ボリューム情報の受信
シンセサイザー等を弾いて、電子ピアノの音を出しているとき、シンセサイザーで電子ピアノの音量をコントロールすることができます。

◆ マルチティンバーの設定
電子ピアノが受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことが出来ます。

◆ エクスクルーシブデータの送信・受信
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

◆ レコーダーの再生情報の送信
レコーダーに録音した演奏を、MIDI で接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

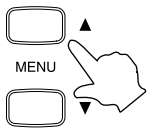
本機の MIDI 機能についての詳細は、" MIDI インプリメンテーションチャート "（巻末）をご覧ください。

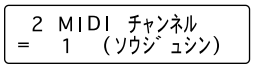
2）MIDI送信・受信チャンネル

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。
チャンネルは、送信チャンネルと受信チャンネルの 2 種類がありますが、本機では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1 つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

◇*操作 1*

MENU ボタン を押して、ディスプレイにMIDIチャンネルの画面を表示します。

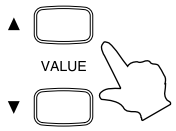




◇*操作 2*

VALUE ボタン で値を［1～16］の間で設定します。

ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。



◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■本機は電源オン時には、1～16 のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。
これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで 1ch に設定したい場合は、一度チャンネルを 2 に設定してから 1 に戻してください。

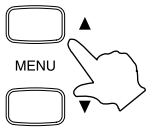
■マルチティンバーモードが、オン（P.40）のときは、スプリット演奏時に低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル +1 チャンネルで送信します。
例えばここでチャンネルを 3 に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は、4 チャンネルで送信されます。

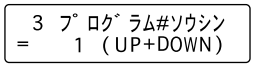
3）プログラム（音色）No.送信

本機では、1～128 までのプログラムナンバーを送信することができます。

◇操作 1

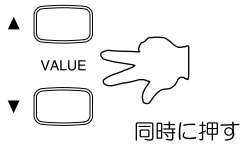
MENU ボタンを押しディスプレイに
プログラム No.送信の画面を表示します。





◇操作 2

2 つ VALUE ボタンを同時に押すと
プログラムナンバーの送信が実行されます。



◇操作 3

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

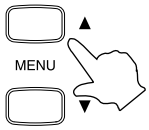
4）チューニング

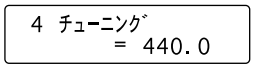
チューニング調整は、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。

◇操作 1

MENU ボタンを押しチューニングの画面を
表示させます。

電源 ON 時は 440.0Hz に設定されます。

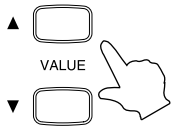




◇操作 2

VALUE ボタンでピッチを［427.0～453.0（Hz)］の間で設定します。

VALUE ボタンを押す度に 0.5 の単位で値を設定できます。
ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。



■この状態で鍵盤を弾くと、" 設定モード " にはいる前に選ばれていた音色が鳴ります。
チューニング調整は、この音色を使って行います。音色を変えたい場合は一度 " 設定モード " から出て
音色を選びなおして、再び設定モードに入って下さい。

◇操作 3

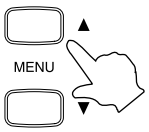
設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

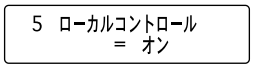
5）ローカル・コントロール

このモードは、本体の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。
ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。
一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報をMIDI OUTするだけで、MIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。

◇*操作1*

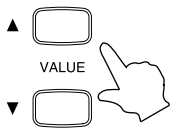
MENUボタンを押しローカルコントロールの画面を表示します。





◇*操作2*

VALUEボタンで値［オン/オフ］を設定します。



電源オン時、ローカルコントロールは、オンに設定されています。

◇*操作3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

6）プログラム(音色)ナンバー送信のオン/オフ

◆ 音色ボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信

本機では、通常の演奏中に10個の音色ボタンを切り替えることにより、右表右側OFF時のプログラムナンバーを送信します。（マルチティンバーモードをオンに設定したときは、右表左側 ON 時のプログラムナンバーを送信します。）

また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

この音色ボタンによるプログラムナンバーの送信やパネル操作の送信は、次の方法により送信するか、しないか（オン / オフ）を設定することができます。

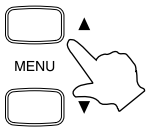
■音色に対応する送受信プログラムナンバー

（ ）の音色は、ＰＷのみの音色です。
［ ］は、ＰＷのオンのバーです。

音　色	マルチティンバーON時 プログラムNo.	バンク	マルチティンバーOFF時 プログラムNo.
● PIANO1			
コンサートグランド	1［1］	0	1［1］
（メローグランド）	1	16	2
● PIANO2			
ブライトピアノ	2［2］	0	3［2］
（ロックピアノ）	2	8	4
● E.PIANO			
エレクトリックピアノ1	5［5］	0	5［3］
（エレクトリックピアノ2）	6	0	6
● JAZZ ORGAN			
ジャズオルガン1	18［18］	0	7［4］
（ジャズオルガン2）	17	0	8
● CHURCH ORGAN			
チャーチオルガン1	20［20］	0	9［5］
（チャーチオルガン2）	20	96	10
● HARPSICHORD			
ハープシコード1	7［7］	0	11［6］
（ハープシコード2）	7	8	12
● VIBRAPHONE			
ビブラフォン1	12［12］	0	13［7］
（ビブラフォン2）	12	91	14
● STRING			
ストリングアンサンブル1	49［49］	0	15［8］
（ストリングアンサンブル2）	49	94	16
● CHOIR			
クワイア	53［53］	0	17［9］
（ファンタジー）	89	0	18
● BASS			
ウッドベース	33［33］	0	19［10］
ベース＆ライド	33［33］	90	20［11］
エレクトリックベース	34［34］	0	21［12］

◇*操作 1*

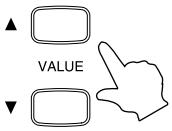
MENU ボタンを押しプログラム送信の画面を表示します。



6 トランスプログラム
= オン

◇*操作 2*

VALUE ボタンで値を設定します。



オン / オフ の設定をします。

◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、音色セレクトボタンによるプログラムナンバーの送信は、自動的にオンにセットされます。

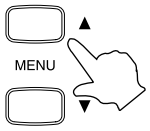
■デュアル / スプリットモード時には、デュアル / スプリット各モードのオン / オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。マルチティンバーモードがオンのときは、送信します。

7）ロアー・ペダルのオン/オフ

スプリット演奏時にダンパーペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にダンパー効果の ON/OFF を設定できます。
（高音側鍵盤のダンパー効果は常に ON となります。）

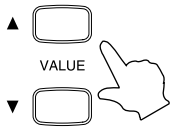
◇*操作 1*

MENU ボタンを押しプログラム送信の画面を表示します。



◇*操作 2*

VALUE ボタン で値を設定します。



ON に設定した際、低音側鍵盤の音にもダンパー効果が加わります。
OFF に設定した際、低音側鍵盤の音にはダンパー効果を加えず、高音側鍵盤の音にのみダンパー効果が加わります。工場出荷時には、OFF に設定されています。

◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

8）マルチ・ティンバー・モード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送信受信しますが、マルチ・ティンバー・モードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。

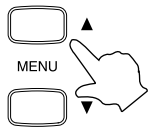
（受信プログラムナンバーに対応した音色は、P.38の表を参照ください。）

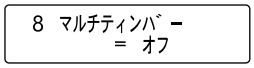
この機能により、外部にDRP-10 などのシーケンサーを使って、本機1台で複数の音色（マルチ・ティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

マルチ・ティンバー・モード をオンに設定すれば、各チャンネル毎にプログラムチェンジ情報を受信することによって P.38 の表に対応した音色変更をすることができます。
また、チャンネルミュートを設定することができます。（P.41 参照）

◇*操作1*

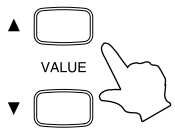
MENU ボタンを押しマルチティンバーの画面を表示します。





◇*操作2*

VALUE ボタンで値［オフ/オン］を設定します。



マルチ・ティンバー・モード がオフのときに、MIDI情報を受信すると、そのとき選ばれていた音色セレクト ボタンの音色が鳴ります。

マルチ・ティンバー・モード がオンに設定されると、受信したプログラム・チェンジ・ナンバーに従って音色が発音します。
また、受信チャンネルごとに発音のオン/オフを設定することができます。（P.41 参照）

◇*操作3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時、マルチ・ティンバー・モードはオフに設定されます。

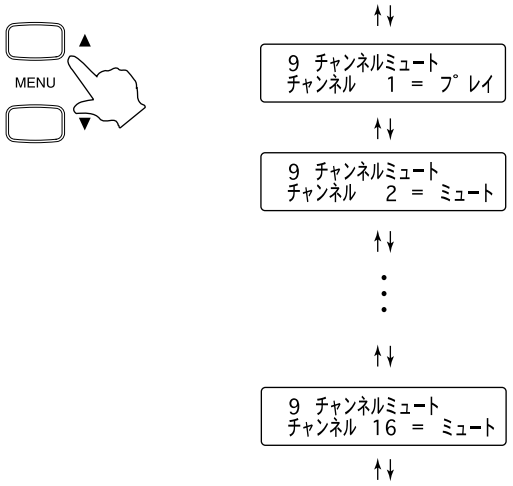
■マルチ・ティンバー・モードがオンのとき、スプリットの状態になっていた場合でも、
各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで発音します。
送信時には、高音側が上記で設定されている MIDI チャンネルに低音側は、そのチャンネル +1 の MIDI チャンネルに設定されます。

9）チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、この画面が現われます。
ここでは、各チャンネルの発音のオン/オフが設定できます。

◇操作 1

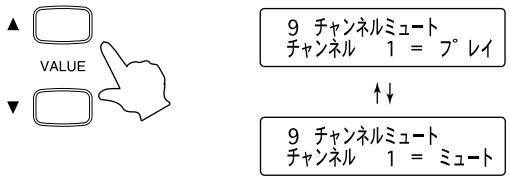
MENU ボタン を押しチャンネルミュートの画面を表示します。



MENU ボタン を押す度にチャンネルNo.が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタン で［プレイ/ミュート］を設定します。



◇操作 3

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源を入れた時は、1ch がオンで、2 ～ 16ch がオフに設定されます。

10）メモリー・バックアップ

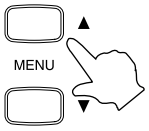
ここでは、自分の好みの設定を記憶（バックアップ）させ、電源を入れたとき、その設定で立ち上げることができます。

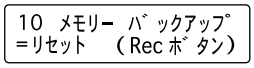
バックアップする内容は以下の設定です。

●バックアップ実行時の各音色ごとのエフェクトセッティング
●設定モードで設定した内容
●バーチャルテクニシャンモードでの設定した内容
●トランスポーズ
●メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム

◇*操作 1*

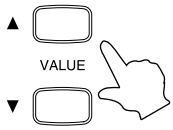
MENU ボタンを押しメモリー・バックアップの画面を表示します。





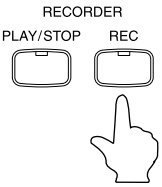
◇*操作 2*

VALUE ボタンで［ユーザー］を選択します。



◇*操作 3*

REC ボタンを押し実行します。



◇*操作 4*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

ディスプレイに、『バックアップコンプリート』と表示され、完了します。

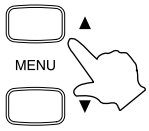
電源を入れたとき常に工場出荷状態のセッティングに戻したいときは、操作 2 で『リセット』を選択し、REC ボタンを押します。

11）表示言語

ディスプレイに表示される言語を、日本語と英語の 2 言語より選択できます。

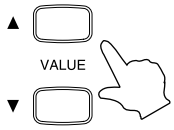
◇*操作 1*

MENU ボタン を押し表示言語の画面を表示します。



◇*操作 2*

VALUE ボタン で［Japanese/English］を設定します。

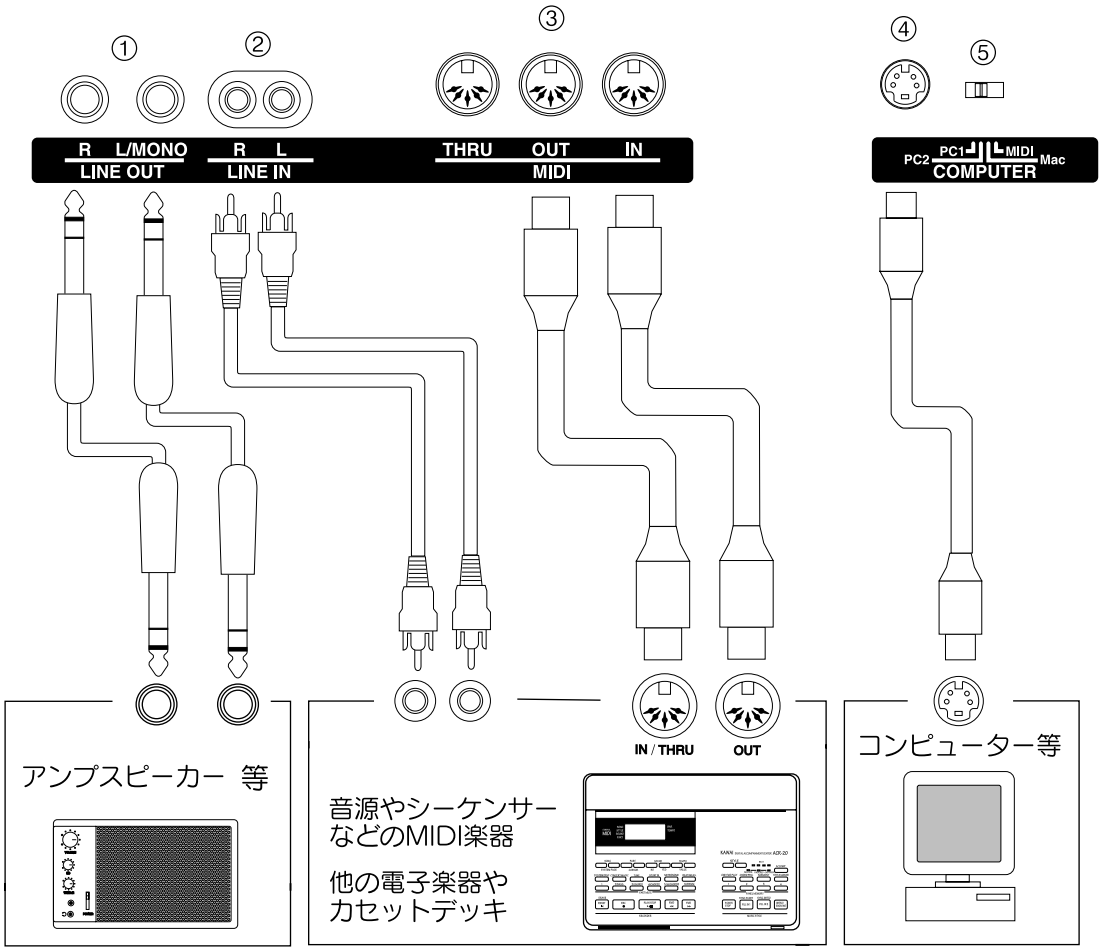


◇*操作 3*

設定を終えたら、どれか音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■付　録

◆ 他の機器との接続



> ⚠ **注意**　本機のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。
> 発振音が発生し、故障の原因になります。

㈰LINE OUT（ライン出力端子）＜標準ジャック＞
本機の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、テープデッキに録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。R（アール）は右側、L / MONO（エル/モノ）は左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOにのみプラグを接続したときに出力されます。

㈪LINE IN（ライン入力端子）＜ピンジャック＞
他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節してください。R（アール）は右側、L（エル）は左側の入力を示しています。

㈫MIDI（ミディ）
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

㈬COMPUTER INTERFACE（コンピュータ 接続端子）
別売りの専用ケーブルで接続することで、直接パーソナルコンピュータとMIDIデータをやりとりすることができます。

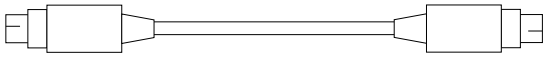
㈭COMPUTER（コンピュータ）
コンピュータ接続端子を利用して、直接コンピュータと接続するとき、
コンピューターの種類に応じて切り換え設定をします。

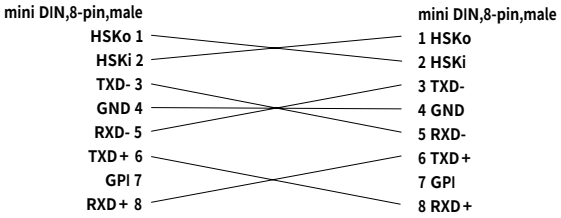
- **Mac：マッキントッシュのコンピューターと接続の場合**
- **MIDI：MIDI端子を使用する場合**
- **PC1：NEC（PC98シリーズ）のコンピューターと接続の場合（NXシリーズ除く）**
- **PC2：DOS/Vの互換機（NEC NXシリーズ含む）と接続の場合**

■ USB 機器と接続の際は、USB 対応 MIDI IInterface を介して、MIDI 端子と接続してください。

Apple Macintosh シリーズ接続用ケーブル

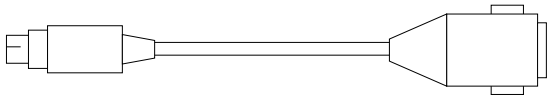
■mini DIN, 8-pin, male **■mini DIN, 8-pin, male**

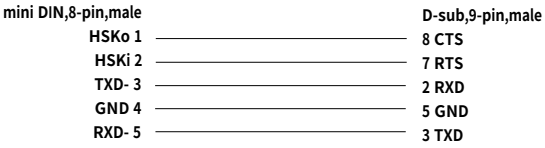




IBM PC/AT シリーズ接続用ケーブル

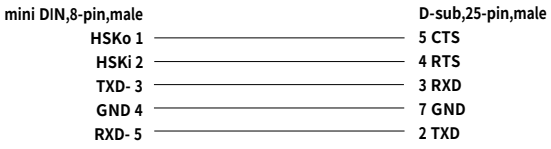
■mini DIN, 8-pin, male **■D-sub, 9-pin, male**



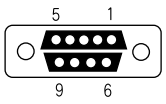


N E C　PシリーズC接続用ケーブル

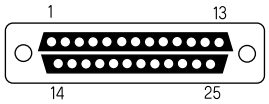
■mini DIN, 8-pin, male **■D-sub, 25-pin, male**



■mini DIN, 8-pin, male **■D-sub, 9-pin, male**



■D-sub, 25-pin, male

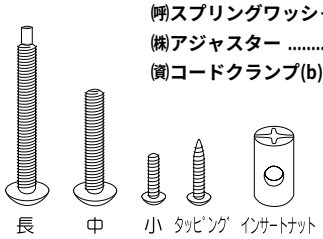


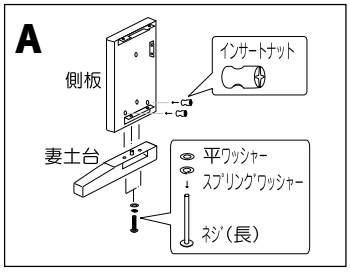
◆ PW970 スタンド組立図

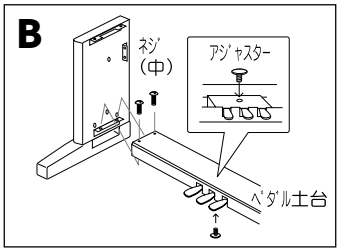
この度は、カワイ電子ピアノをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
この説明書を一通りお読みになり、パーツがすべて、そろっていることを確認されてから、床やスタンドを傷つけないように注意して組み立ててください。

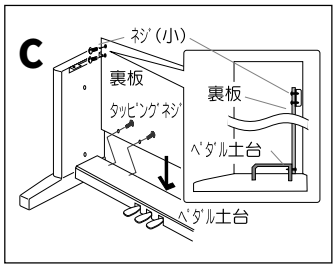
■パーツ（同梱品）

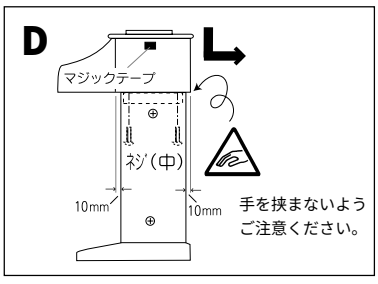
㈰	親板	2（左右）	
㈪	側板	2（左右）	
㈫	裏板	1	
㈬	前板	1	
㈭	ペダル土台	1	
㈮	妻土台	2（左右）	
㈯	ネジ（長）	4	
㈰	ネジ（中）	12	
㈱	ネジ（小）	8	
㈲	タッピングネジ	4	
㈳	インサートナット	4	
㈴	平ワッシャー	4	
㈵	スプリングワッシャー	4	
㈶	アジャスター	1	
㈷	コードクランプ(b)	1	

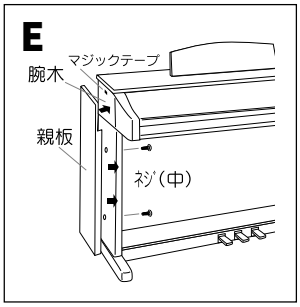






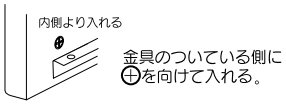






■組み立て順序

A. 側板にインサートナットを2個入れ、インサートナットの穴が下側を向くように、ドライバーで調節します。



B. 側板と妻土台を2本のネジ（長）で固定します。
平ワッシャーとスプリングワッシャーを図Aの様に挟みます。
側板と妻土台は、左右あるので組み合わせに注意してください。

ペダル土台の裏側からアジャスター（高さ調整ネジ）を1cmぐらいはめこみます。また、ペダル土台に結ばれているペダル接続コードをほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

側板とペダル土台を4本のネジ（中）で固定します。この時、側板とペダル土台を密着させて取り付けください。

C. 裏板を側板に取り付けます。まず、ネジ（小）4本で上部を固定してから4本のタッピングネジで下部を固定します。
この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。

D. 本体をスタンドに静かに載せます。真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体を前方に載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板の金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、側板と本体の間ではさまないように注意してください。

⚠ **注意** 必ず2人以上で作業してください。

本体とスタンドを4本のネジ（中）で固定します。
まず、ネジを軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。

⚠ **注意** 必ず本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

E. 親板を側板に密着するようにはめこみます。親板と腕木の側面に「L」「R」のスタンプが押してあります。親板「L」は腕木「L」の側板へ、親板「R」は腕木「R」の側板へはめこみます。この時に本体を後側へ押し込み本体の腕木の欠き部に隙間がないようにしてネジ（中）を本締めします。

側板内側より4本のネジ（中）で親板を固定します。

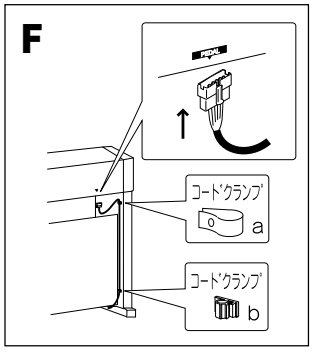
●入らない場合は、本体とスタンドを固定するネジを少しゆるめて、
親板を取付けた後ネジを締め直してください。）

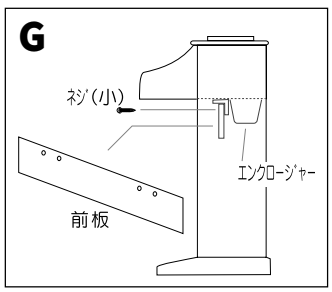
●マジックテープの部分は強く押して固定してください。）

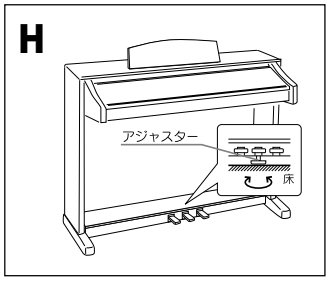
F. ペダル土台から出ているペダル接続コードを端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、a,b のコードクランプでとめます。（aコードクランプは、ネジをはずしてからはめてください。bコードクランプは、コードが適当な位置になるような場所に裏面のシールを剥がして取り付けてください。）

G. 前板を本体下部のエンクロージャー前部にネジ（小）4本で取り付けます。

H. ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。





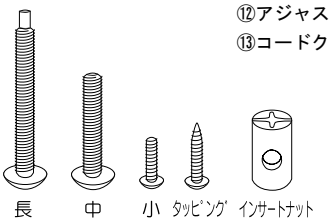


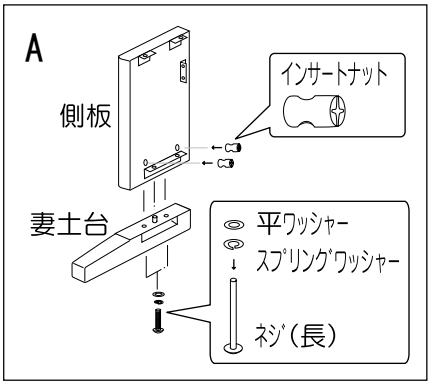
◆ PW770　スタンド組立図

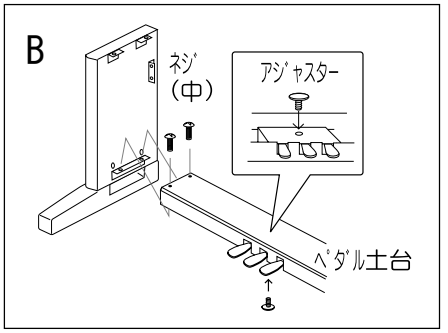
この度は、カワイ電子ピアノをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
この説明書を一通りお読みになり、パーツがすべて、そろっていることを確認されてから、床やスタンドを傷つけないように注意して組み立ててください。

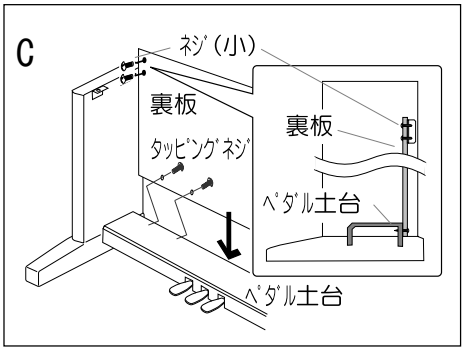
■パーツ（同梱品）

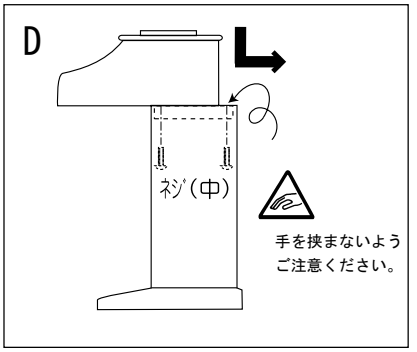
①側板 ..... 2（左右）
②裏板 1
③ペダル土台 1
④妻土台 ..... 2（左右）
⑤ネジ（長）..... 4
⑥ネジ（中）..... 8
⑦ネジ（小）..... 4
⑧タッピングネジ..... 4
⑨インサートナット 4
⑩平ワッシャー..... 4
⑪スプリングワッシャー 4
⑫アジャスター..... 1
⑬コードクランプ(b) 1

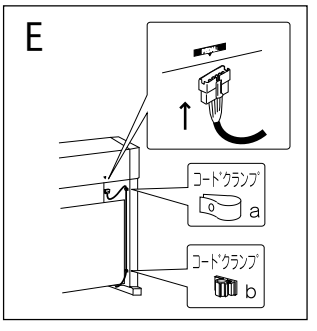


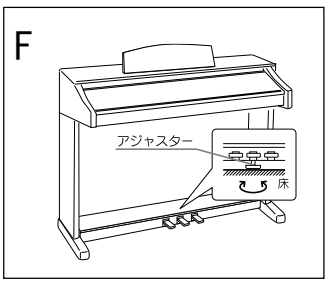












■組み立て順序

A
側板にインサートナットを2個入れ、インサートナットの穴が下側を向くように、ドライバーで調節します。

B
側板と妻土台を2本のネジ（長）で固定します。
平ワッシャーとスプリングワッシャーを図Aの様に挟みます。
側板と妻土台は、左右あるので組み合わせに注意してください。

ペダル土台の裏側からアジャスター（高さ調整ネジ）を1cmぐらいはめこみます。また、ペダル土台に結ばれているペダル接続コードをほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

側板とペダル土台を4本のネジ（中）で固定します。この時、側板とペダル土台を密着させて取り付けください。

C
裏板を側板に取り付けます。まず、ネジ（小）4本で上部を固定してから4本のタッピングネジで下部を固定します。
この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。

D
本体をスタンドに静かに載せます。真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体を前方に載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板の金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、側板と本体の間ではさまないように注意してください。

⚠ 注意　また、必ず2人以上で作業してください。

本体とスタンドを4本のネジ（中）で固定します。
まず、ネジを軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。

⚠ 注意　必ず本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

E.
ペダル土台から出ているペダル接続コードを端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、a,b のコードクランプでとめます。(aコードクランプは、ネジをはずしてからはめてください。bコードクランプは、コードが適当な位置になるような場所に裏面のシールを剥がして取り付けてください。)

F.
ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

◆ 主な仕様

■鍵　盤	88鍵 / 木製鍵盤
■発音数	64（音色により異なる）
■音　色 ()は、PWのみ	PIANO 1〔ｺﾝｻｰﾄｸﾞﾗﾝﾄﾞ／（ﾒﾛｰｸﾞﾗﾝﾄﾞ）〕、PIANO 2〔ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ／（ﾛｯｸﾋﾟｱﾉ）〕、E. PIANO〔ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ1／（ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ2）〕、JAZZ ORGAN〔ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ1／（ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ2）〕、CHURCH ORGAN〔ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ1／（ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ2）〕、HARPSICHORD〔ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ1／（ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ2）〕、VIBRAPHONE〔ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ1／（ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ2）〕、STRING〔ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ1／（ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ2）〕、CHOIR〔ｸﾜｲｱ／（ﾌｧﾝﾀｼﾞｰ）〕、BASS〔ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ／ﾍﾞｰｽ&ﾗｲﾄﾞ／ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾍﾞｰｽ〕
■効　果	リバーブ（ﾙｰﾑ、ｽﾃｰｼﾞ、ﾎｰﾙ、3Dﾙｰﾑ、3Dﾎｰﾙ）、ディレイ1,2,3、コーラス、 トレモロ、ロータリー
■音　律	平均律（2）、純正律（長調/単調）、ピタゴラス音律、中全音律、ヴェルクマイスター第III法 、キルンベルガー第III法
■その他の 機能	ボリューム、ブリリアンス、トランスポーズ、チューン、デュアル、スプリット デュアル/スプリットバランス、スプリットポイント変更、テンポ、デモ（PW970/28曲,PW770/21曲） タッチカーブ選択（ライト×2、ノーマル、ヘビー×2、オフ）、ボイシング、コンサートマジック
■レコーダー	2パート（トラック）×5ソング、総記録容量　約5,000音
■メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/8、7/8、9/8、12/8拍子
■ペダル	ダンパー、ソフト、ソステヌート
■外部端子	ヘッドホン（2）、ペダル、MIDI（IN、OUT、THRU）、コンピュータ接続端子 LINE IN（L、R）＜Pin＞、LINE OUT（L/MONO、R）＜Phone＞
■出　力	40W×2
■スピーカ	13cm×2（スピーカーボックス付）、2.5cm×2（ドームツイーター×2）
■キーカバー	スライド式
■定格電圧	AC100V、50/60Hz
■消費電力	77W
■仕上げ	ブックソロモン
■寸　法	（PW）970 [W×D×H] 141×51×92（cm）　（PW）770 [W×D×H] 139×50×88（cm）　スタンド含む
■重　量	（PW）970 69kg　（PW）770 69kg
■付属品	専用高低自在椅子WB-30 / 電源コード / 取扱説明書（本書） / 保証書

Date : Aug '99
Version : 1.0

◆ KAWAI［Model PW970/770］MIDI IMPLEMENTATION CHART

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 ～ 16	1 1 ～ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	モード1 モード1.3 ＊＊ ×	** 電源ON時オムニ・オン。 MIDIチャンネル設定操作によりオムニ・オフ。
ノート ナンバー	音域	21 - 108 * ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	0 - 127 15 - 113	
ベロシティ	ノート．オン ノート．オフ	○　9nH　v=1-127 ×　9nH　v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ．ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	0,32 7 10 11 64 66 67	○ × × × ○（右ペダル） ○（中ペダル） ○（左ペダル）	○ ○ ○ ○ ○ × ○	ﾊﾞﾝｸｾﾚｸﾄ ﾎﾞﾘｭｰﾑ ﾊﾟﾝﾎﾟｯﾄ ｴｸｽﾌﾟﾚｯｼｮﾝ ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ｿｽﾃﾇｰﾄ ｿﾌﾄﾍﾟﾀﾞﾙ
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○（0 - 127） ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	○（0 - 127）	
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON／OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○(123-127) ○ ×	
備　考		* 15-113　トランスポーズによって変化する。		

モード１：オムニオン、ポリ　　モード２：オムニオン、モノ
モード３：オムニオフ、ポリ　　モード４：オムニオフ、モノ

○: 有り
×: 無し

株式会社 河合楽器製作所 電子楽器事業本部 〒430-8665 浜松市寺島町200番地 TEL 053-457-1277, FAX 053-457-1279 http://www.kawai.co.jp

9908
Printed in